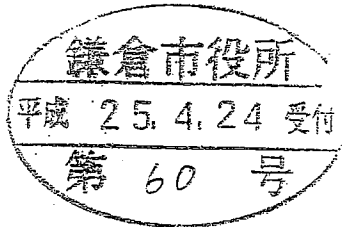


相互提案協働事業 報告書

平成 25 年 4 月 18 日

(あて先) 鎌倉市長



住所 [REDACTED]  
 郵便番号 [REDACTED]  
 団体名 かまくら福祉・教育ネット  
 代表者氏名 江副 幸子

平成 24 年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	障害者就労支援員（ジョブサポーター）養成・派遣事業	
事業概要	<p>障害者が安心して企業等で働き続けられるために、ボランティアによる障害者就労支援員（ジョブサポーター）を養成し、企業等に派遣して就労定着支援活動を実施する。</p> <p>そのためにジョブサポーター養成講座を開催し、確保し、障害者就労支援事業所と連携して障害者就労企業との連絡・調整し、障害者への助言・見守りなど行うサポートを通じて、就労定着支援を行う。</p>	
市担当課	障害者福祉課	
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	開始 平成 23 年 4 月 1 日～ <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>継続</td> </tr> </table>	継続
継続		
協働の形態	市民活動団体提案協働事業	
事業費	385,367 円	

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p>&lt;達成できた点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度に養成したジョブサポーター16名を2名1組で、鎌倉市民で企業に就労している障害者8名のサポートを延べ53回行った。</li> <li>・障害者の就労の実際について理解を深めるための視察や研修を行った。</li> <li>・ジョブサポーターの活動状況について、ジョブサポーター相互の情報共有を図るため、活動報告会を3回開催した。</li> <li>・市と連携し、実習生のサポートを行った。</li> </ul> <p>&lt;達成できなかった点&gt;</p> <p>利用者数(対象となる障害者)が予定通りに伸びず、企業への派遣活動も計画より縮小したものとなった。今後事業PRが課題。</p>
<p>成果・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者就労援助センターや就労移行支援事業所のジョブコーチと連携して、その業務の一部である就労後の定着支援業務をサポートするため障害者が就労する企業に訪問しきめ細やかな支援を行った。これにより障害者にとっては、本人の求めるニーズを企業に伝えることにより障害者の労働意欲が増し、就労継続につながった。また企業にとっては、社員の障害者に対する理解が深まり、障害者に合わせた指導や職場環境の改善がなされた。</li> <li>・障害者の就労支援について経験の無かった市民であるジョブサポーターが、定着支援をし、障害者を雇用する企業への見学や活動報告会で障害者雇用について多面的な角度からの講演を受けることで、啓発につながった。</li> <li>・就労援助センター等との連携が深まり、働く障害者のセーフティネットの構築の足がかりとなった。</li> </ul>
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者それぞれの状況に応じた支援をする必要があるため、全体に支援の範囲を再検討する。</li> <li>・就労支援事業所等との関わり方について見直しを図る。</li> <li>・事業のPR強</li> <li>・各サポーターの技能の向上・均質化</li> </ul>
<p>今後の展望</p>	<p>基本的には事業の要綱に沿って実施する中で、事業開始当初には想定できなかったものや見直しが必要と考えられる案件について再検討し、事業の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象・・・実施対象者 就労支援事業所</li> <li>・改善・・・事業内容の範囲等、サポーターの技能向上</li> </ul>

添付資料

- ① 平成24年事業実績報告書
- ② 平成24年度収支決算書

# 平成 24 年度相互提案協働事業

## 「事業実績報告書」

### 1 事業実施期間

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

### 2 事業内容

障害者が安心して企業等で働き続けられるために、当事業で養成したボランティアによる障害者就労支援員(ジョブサポーター)を企業等に派遣して就労定着支援活動を実施する。

派遣にあたり、障害者就労支援事業所等と連携して障害者就労企業との連絡・調整をし、企業や障害者への助言・見守りなど行う。

### 3 事業実績

#### (1) 就労支援活動

工房ひしめき就労移行支援事業所とよこすか障害者就業・生活支援センターより依頼を受け、ジョブサポーター2名1組で定着支援活動を行う。

平成24年5月障害者1名につき延べ2回、6月4名につき延べ13回、7月2名につき延べ6回、8月2名につき延べ4回、9月4名につき延べ8回、10月2名につき延べ12回

11月2名につき延べ4回、12月1名につき1回、平成25年1月1名につき延べ2回、3月1名につき1回、計53回(事前打合せを含む)

鎌倉養護学校生徒の鎌倉市役所での作業実習(10月9日～12日)における支援を含む

#### (2) 先進都市視察(東京都日野市)

4月20日、東京都日野市及び日野市社会福祉協議会へ事務局メンバーが視察

##### ① 日野市障害者生活・就労支援センター「くらしごと」

就労している障害者、雇用している企業、事業所を対象に就労にかかるさまざまな相談に応じている。障害者の生活の安全等を考慮し、決め細やかな生活支援を行う例もある

##### ② 日野市社会福祉協議会「しごとパートナー」(資料参照)

市内の障害者の職場実習及びインターンシップの支援や就労している障害者の社会活動支援など。

日野市の就労支援の取り組みの特徴として、「障害者の多様な働き方の実現」を目指し関係機関のネットワークが築かれ、1人の人がネットワークの中のどこかに関われば、その人に合った働き方が出来る所にたどり着けるような仕組みになっていること、また、そのネットの一つに商工会が組み込まれていることなどがあげられる。

#### (3) 企業見学会報告

##### ① NSKフレンドリーサービス 平成24年11月29日(木) 参加者5名

障害者の社員は11名 社会人としての責任と自立を理念としている。

仕事(主に清掃作業)は手順書やスケジュール表で細かく管理している。

報告連絡相談(ほうれんそう)や おあしす(おはよう・ありがとう・失礼します・すみません)

運動の徹底 社員の障害特性理解はあるが対応を変えることは無い。

②日本理化学工業(株) 平成25年2月5日(火) 参加者 11名

障害者社員 55名 過去50年にわたり障害者を雇用

「人は誰でも共感脳を持っている、人の役に立つと幸せを感じる」を理念として掲げている。障害者も人の役に立てるように段取りをすれば仕事は必ず覚え、社会の役に立つ。管理の仕方は、入社したら4つの約束(身辺自立・返事をする・言われたことを一生懸命する・周りの人に迷惑をかけない)をし、破った時はすぐに帰宅させ、みんなと一緒に働きたいか考えさせる事や、班長制度(2~3の仕事が覚えられる・人に親切に教えられる・会社のルールを守る)を用いている。人に親切に、人に優しくという言葉が印象的。

(4)障害者就労援助センター学習会等参加

①横浜戸塚就労支援センター企画の事例検討会[かしおぺあ]に参加

7月12日 ジョブサポーター6名が参加。

テーマ「障害者を雇用する企業の視点から・労働を支える生活支援について」

10月23日 6名参加

テーマ「

ジョブサポーターの技能向上や地域の障害者の就労事情の把握などを目的として参加、

②鎌倉養護学校夏季公開講座 事務局参加

8月23日 「就労移行事業所と就労援助センターの取り組みについて」

講師 ハートピア湘南 鈴木 暢氏 みらい社 小川 陽氏

湘南地域就労援助センター 小川 菜江子氏

③かまくら福祉・教育ネット主宰の勉強会「学校を卒業するまでに身につけておきたいこと・就労にむけて」

9月8日開催 ジョブサポーター9名参加

講師 横浜戸塚就労支援センター所長 甲方 裕之氏

④NPO法人障害者雇用部会 主催 「企業と語り合おう in 湘南」 事務局参加

(5)よこすか障害者就業・生活支援センター Y・S・E通信へジョブサポーター事業紹介の原稿提供

(6)横須賀市障害者自立支援協議会 第4回就労支援分科会において、ジョブサポーター先行事例に関して鎌倉市の事例紹介

(7)JS活動報告会 詳細は別紙参照

第1回 7月27日

第2回 11月16日

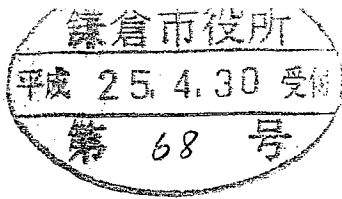
第3回 2月22日

(8)9月21日戸塚藤沢ハローワーク合同面接会 各就労援助施設と情報交換

「相互提案協働事業」  
平成24年度収支決算書

平成25年4月1日

科目	金額	備考
<収入> 協働事業市負担金	492,000	
<支出> ボランティア活動費 ボランティア研修費 交通費 通信費 事務費 講座講師謝礼 研修図書購入 ボランティア活動保険 雑費	143,000 52,000 60,390 10,024 54,153 20,000 33,600 7,200 5,000	平成24年4月～25年3月 延べ53回 かしおぺあ2回、親の会勉強会 企業訪問2回、日野市視察、関係機関訪問 振り込み手数料等 事務用品・事務費 講師2名分 技能向上のための図書*16名分 ボランティア活動保険 450円*16名 企業見学手土産
合計	385,367	
残金	106,633	



平成 25 年 4 月 30 日

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

( 24 年度 )

事業名 : 障害者就労支援員 (ジョブサポーター) 担当課名 : 障害者福祉課

市民活動団体名 : かまくら福祉・教育ネット

評価項目		役割担当		理由	
		市民活動 団体	行政担当 課		
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	○	○	
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	○	○	
3		事業の協定書の内容は充分であったか	○	○	
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	○	○	
5		事業は対等な立場で進められたか	○	○	
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	○	○	
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	○	○	
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	○	○	
9	事業実施結果	設定された目標 (評価項目) は達成されたか	○	○	
10		予算の執行は予定通りであったか	△	○	利用者数が当初予定に達しなかった
11		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
12		定められた役割分担は守られたか	○	○	
13		市民サービスは向上したか	○	○	
14		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	

1 5	今後の事業展望	<p>事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)</p>	<p>(まとめ) ①就労支援センターとの連携を深め、相互協力の下、きめ細かい就労支援活動を行うことにより障害者の就労継続に貢献した。</p> <p>②市と連携し就労実習生のサポート等新たな取り組みを行った。</p> <p>③支援活動する中での生活支援の必要性や支援対象者の拡大につきサポーターの資質の向上・維持等新たな課題に対応するため、活動・運営の強化・充実が必要となる。</p> <p>④協働事業のまとめとして、障害者就労の現状と課題等を市民に啓発・共有するため、講演会等を企画開催する。</p> <p>⑤障害者を雇用しているが就労支援機関とつながりのない事業者や商工会への働きかけを行うなど、事業の普及啓発に努める。</p>
-----	---------	--	---

各々の評価は 達成：○（10ポイント）      まあまあ：△（5ポイント）      不達：×（1ポイント）

備考：理由蘭は、別紙で提出しても結構です。

鎌倉市 地域のつながり推進課 地域のつながり推進担当  
電話 23-3000 内線 2582